

学校名	佐賀県立伊万里実業高等学校 商業キャンパス 定時制
-----	---------------------------

達成度（評価） A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・魅力ある学校づくりと地域への情報発信に重点をおいて取り組んできた。これからも地域に根ざした学校づくりを行い「生徒が行きたい」、「保護者が行かせたい」、「地域から必要とされる」そして「職員が勤務したい学校」を創っていく。 ・全職員が「One Team」となり学校教育目標の実現に組織的に取り組み、専門高校の特徴を活かした活動等を行い地域から必要とされる学校を目指す。
------------------	--

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	西部地区唯一の商業科定時制高校として、多様な生徒に対応した商業教育を実践する。
----------------------------	---

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー	4 本年度の重点目標	・心身ともに健康な生徒と安全安心な学校づくり ・学習意欲を高め、確かな学力習得（修得）と進路実現を図る ・次世代を見据え、地域に貢献できる人材の育成を図る
	A)このような生徒を求めています 1 思いやりがあり協力して学びあうことができる。 2 働きながら学びたい キーワード ○思いやり ○学習 ○向上 ○勤労 ○協力	B)学びたい心を大切にします！ 【少人数クラスでの教科指導】 ○商業教科を基礎から指導します。 ○専門知識と技術の定着を図ります。 【特色】 ○自ら学ぶとうする意欲を大切にします。 ○単位制を導入しています。 ○働きながら学べます。 【その他】 ○2学期制です。 ○併修制度により3年で卒業も可能です。 ○多様な外部講師による社会人教育もあります。	C)身に着けてもらいたい能力・精神！ ○他者と協働できる力 ○自ら学び行動する力 ○社会の課題に向き合う力 ○多様な人々と協働できる力 ○地域産業に貢献できる力		

5 重点取組内容・成果指標				中間評価		最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○基礎学力の定着・向上	○基礎学力テストで60%以上正答した生徒が80%以上 ○出席率95%以上	・授業実施率95%以上 ・少人数教育のメリットを生かし、毎時全生徒に声掛けを行う理解度を確認する	B	・数名のコロナ感染はあったが、それ以外生徒の出席状況も良好である ・落ち着いた授業態度で学習に取り組んでいる	B	・授業実施率は現時点では目標達成可能である ・1名長欠者が出たが、他の生徒はおおむね出席は良好、授業態度も落ち着いている	B	・授業時間を最大限に確保し、基礎学力の定着が図れたことはよかった ・職員の声かけで欠席者数が減少しており、ぜひ続けてもらいたい	教務主任 進路指導主事
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○[(学校独自成果指標) ○講演を聞いて「ためになった」という趣旨の文言が90%以上	・人権・同和教育、情報モラルを含めた講演会を2回以上実施する ・HRや授業の様々な場面で生命の尊さ、他者への思いやりの大切さを話す	B	・5月と9月に外部講師を招き情報モラルを含めた、法律の観点からの講話を実施した ・講演を聞き、感想文を記入することで、他者への配慮や思いやりの心を深めている	A	・講演を聞いて「ためになった」という趣旨の文言が100%であった ・人権に関する講演やビデオを視聴することで、人権意識を高めることができた	A	・全ての生徒がためになったという回答だった ・講演会等の座学以外にも他の評価項目からも直接・間接的に醸成されている(ボランティア活動、部活動や学校活動の係等)	道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「いじめの問題に関する点検項目」に対し、95%以上の職員が全て「おおむねできている」「できている」の回答	・「いじめアンケート」を隔月実施、「生活アンケート」を前後期各1回実施 ・生徒に関する情報交換のための職員連絡会を毎月実施	B	・計画通り「アンケート調査」を実施、現状は問題なし、今後も日常の生徒支援を心がけ、実態把握に努めたい ・情報交換会により生徒の情報共有ができている。	B	今年度いじめ認知1件、いじめ認知0件であった ・日常の見守りや情報共有により、いじめの早期発見と生徒支援を心掛けたい。	A	・「いじめアンケート」を隔月実施していることは素晴らしい ・いじめをしないことが大前提であるため、生徒に意識させることは大事だが、教師も発見する目(力)を磨いてほしい	生徒指導主事 各学年主任
●健康・体づくり	○健康管理能力の向上	○食事前やトイレ後の手洗いの実施率100% ○検診結果で治療を要する生徒の治療受診率80%以上	・登校時に健康観察を行い、日々の健康状態を把握する ・「保健だより」で健康についての情報を提供する	B	・食事前やトイレの手洗いは丁寧にいらわれている ・検診結果で治療が必要な生徒への受診を促している	B	・食事前の手洗い実施率100%である ・検診結果をもとに治療受診の生徒は50%であった、自主的に歯のメンテナンスに行った生徒が2名いた	B	・治療受診がなかなか進まないのは、家庭の事情等もあるが、まずは健康第一なので、粘り強く生徒及び保護者に呼びかけ、意識向上をはかっていってほしい	保健主事 学校栄養職員 食育推進担当者
	●望ましい食習慣の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒は95%以上 ○給食の喫食率80%以上	・喫食調査を毎日実施し、生徒の健康状態を併せて把握する ・食生活に関する面談を実施する ・食育アンケートを実施し、結果をもとに講話を行う(1月)	B	・喫食調査は、毎日実施で、生徒の健康状態を観察している ・食生活に関する面談も実施した ・食育アンケートを行い1月の講話に生かしたい	B	・給食の喫食率77%で目標の数字にはとどかなかった ・給食を食べている生徒の残食はほとんどない	B	・生徒の喫食率を高めるために食事の栄養バランスなど栄養価等にも関心を持たせる指導を行い、食に対する意識を高めていって欲しい	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	・学校閉庁日の設定 ・出勤システムや定期的な面談等による日常チェック	A	・月の時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合12.8% ・夏季休業中に4日間、校閉庁日を設定し、教職員が休暇を取得しやすい環境を整備した	A	・4月から1月までの月の時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合7.1% ・夏季休業中に4日間、校閉庁日を設定し、教職員が休暇を取得しやすい環境を整備した	A	・職員の時間外勤務時間を見て仕事の分担を適切に行ってほしい ・業務の質を落とさずになお一層効果的な学校運営が可能となるように期待している	管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の理解を深める	○発達障害について理解を深めたと回答する教員を90%以上にする	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・個別の教育支援計画の共通理解	B	・個別の教育支援計画の作成と校内委員会を計画している ・発達障害理解のための職員研修会を10月に計画している	A	・作成した個別の支援教育計画は全職員で共通理解を行った ・ASD、ADHD、LDの職員研修会を10月に実施92.3%の理解度を得た	A	・職員研修会等も計画的に実施され、個別のケースに丁寧に対応されているという話を聞く ・必要に応じて外部の関係機関との連携も図ってほしい	特別支援コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
◎志を高める教育	◎学習意欲を高め、進路実現に向け能動的に行動できる生徒の育成	◎卒業予定者の進路決定率100% ◎在校生の就労率90%以上	・アルバイト等の就労体験を通し社会性を身に付け、進路意識を高める ・日頃の教育活動を通して進路意識の啓発を行う	B	・新規卒業生の就職、進学に向けての活動は積極的に行っている ・就労率については、90%を上回っていて、ほぼ全員がアルバイトをやっている	B	・卒業後の進路決定ができずに、現在のアルバイトを継続する生徒が2人 ・在校生の就労率は、全体で90%となっており、ほぼ全員がアルバイトを行っている	B	・在校生の就労率は、目標を達成出来ている ・検定試験への挑戦、そして取得により生徒に自信が生まれているので、更なる意欲向上に期待したい	進路指導主事 教務主任
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★働きながら学ぶことに誇りを持って基本的な生活習慣と確かな学力を身につけ、進路目標の実現に務める。	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合を80%以上、教職員の割合を85%以上とする。	・生徒による授業評価3.4(4段階)以上 ・週1回のホームページ更新 ・全日制及びハローワークと連携し進路情報を生徒に提供する	B	・進路情報提供については、しっかりとできている ・生徒による授業評価は、全教科目平均で3.6(4段階)で目標を達成した	A	・全日制及びハローワークとの連携により、進路情報の提供を充分に行うことができた ・自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合75%、保護者の割合85%、教職員の割合90%でおおむね目標を達成できた	A	・アルバイトと学業の両立は厳しいので、先生や保護者等から生徒への後押しを今後もお願いしたい。 ・これからも希望進路100%へ向けサポートをしていって欲しい	教務主任 各学年主任 各教科・学科主任 進路指導主事

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・ 次年度への展望	・定時制独自の学校紹介DVDの製作や定時制ホームページによる情報発信など新たな取り組みやPR活動を講じた結果、例年に比べて受験者数の増加につながったため、次年度も継続し学校魅力の発信、通学しやすい環境の整備、現代のニーズに合ったカリキュラム編成など生徒確保への取り組みを行い、「生徒が行きたい」、「保護者が行かせたい」、「地域から必要とされる」そして「職員が勤務したい学校」を創り、地域に根ざした学校づくりを引き続き行う。 ・全職員が「One Team」となり学校教育目標の実現に組織的に取り組むことができた。また、4年次生は、進路100%を達成し卒業することができた。
--------------------	--